

取手市消防施設個別施設計画

令和6年7月

取手市

目次

第1章	消防施設の個別施設計画について	1
1-1	背景.....	1
1-2	計画の目的.....	1
1-3	計画の位置づけ.....	2
1-4	計画期間.....	2
1-5	対象施設.....	3
第2章	消防施設の目指すべき姿	5
第3章	消防施設の状態等	7
3-1	施設の運営状況・活用実況等の実態.....	7
3-2	消防施設の劣化状況の実態.....	20
第4章	施設整備の基本的な方針等	22
4-1	施設の規模・配置計画等の方針.....	22
4-2	修繕・改修等の基本的な方針.....	23
4-3	目標使用年数、改修周期の設定.....	24
第5章	基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等	25
5-1	改修等の整備水準.....	25
5-2	維持管理の項目・手法等.....	25
第6章	消防施設の実施計画	27
6-1	改修等の優先順位付けと実施計画.....	27
6-2	改修等のコストの見通し ～維持・更新の課題と今後の方針～.....	30
第7章	計画の推進について	31
7-1	情報基盤の整備と活用.....	31
7-2	推進体制等の整備.....	31
7-3	フォローアップ.....	32
7-4	市民との情報共有・協働のあり方について.....	32
参考資料	33	

第1章 消防施設の個別施設計画について

1-1 背景

本市の公共施設(建物系)とインフラ(以下「公共施設等」と総称する。)は、高度経済成長を背景に人口の増加や行政需要の拡大に比例する形で整備されてきました。実際、昭和40年代半ばから50年代後半にかけての建設・整備が集中しています。これらの公共施設等は、年月の経過に伴い老朽化が進行し、一斉に更新の時期を迎えます。

そのようなことから、本市では、公共施設等を総合的かつ計画的な管理を推進するために、国からの公共施設等総合管理計画の策定要請を受け、「取手市公共施設等総合管理計画」(以下「総合管理計画」という。)を平成28年(2016)7月に策定し、令和4年(2022)3月には、施設の現状を勘察しながらの施設評価による適正配置方針や、「施設のあり方の検討時期」、「修繕・改修周期の考え方」など、維持・保全の基本方針などを示した、「取手市公共施設等総合管理計画第1次行動計画」(以下「第1次行動計画」という。)を策定しました。

1-2 計画の目的

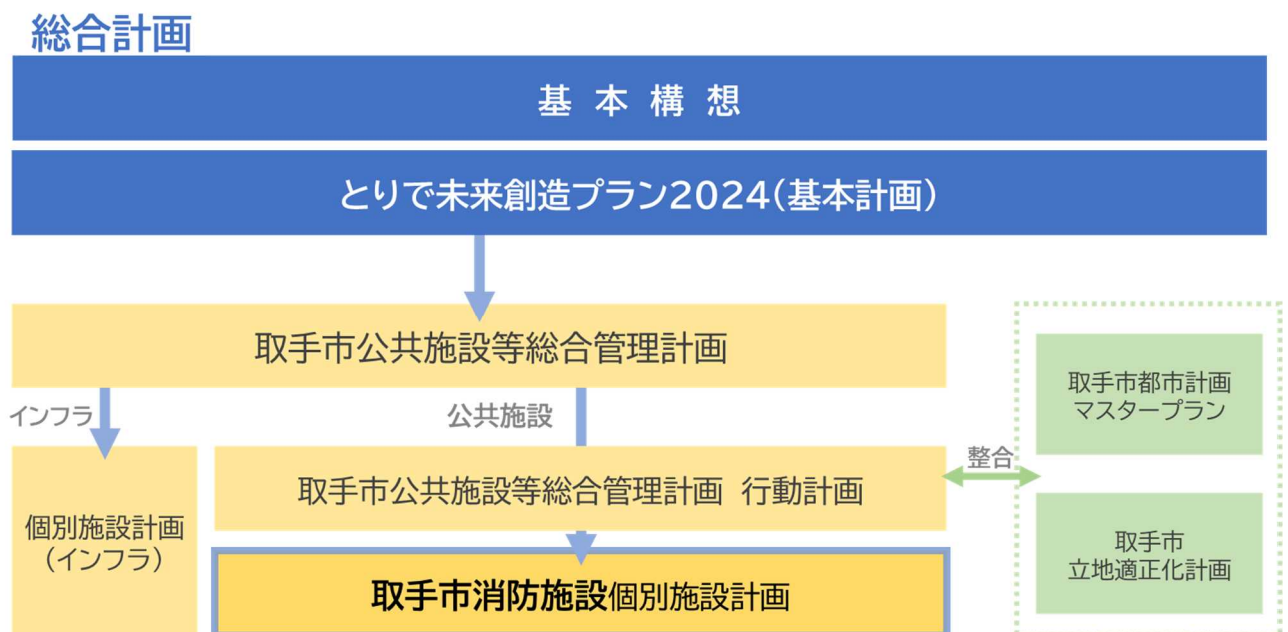
消防施設個別施設計画は、第1次行動計画において、個別施設計画に求められた施設の現状を勘察しながら施設評価による適正配置方針や、維持・保全の基本方針などを踏まえ施設ごとの再配置や保全のスケジュールについて、施設の状態を把握し、状態に合わせた施設整備の水準を示し、施設が目指すべき姿に向けた行動計画を検討します。

1-3 計画の位置づけ

本計画は、平成25年(2013)11月に国土交通省から公表された、「インフラ長寿命化基本計画」と、その後、総務省が地方公共団体に対し策定を要請した個別施設計画として位置づけます。

また、総合管理計画で掲げた、今後の人口動向や厳しい財政見通しを踏まえて、3つの基本理念・方針や、試算の結果、長寿命化や保全による基準の見直しを行っても、既存の施設をすべて維持することはできないことから、当市の財政状況で更新等にかかる費用を賄えるまで施設量を縮減する必要があるとして設定した縮減目標の実施計画と位置づけます。

図表 1-1 計画の位置づけ



1-4 計画期間

令和6年度(2024)から令和15年度(2033)の10年間

本計画は今後10年間の消防施設の維持・更新についての方針を示すものであり、上位計画である総合計画、総合管理計画などと整合を図るため、これらの計画の見直しにより修正すべき内容は適宜見直していきます。

また、老朽化した施設が多いことから、必要な場合、随時見直すことが想定されます。

1-5 対象施設

本計画の対象施設(消防施設)は消防本部及び消防署(以下「消防本部施設」という。)5か所、消防団車庫及び水防資機材庫(以下「消防団施設」という。)38か所の合計43施設です。

図表 1-2 対象施設

施設名	延床面積(m ²)	所管課
消防本部・取手消防署(庁舎・訓練棟)	2,513	消防総務課
戸頭消防署 庁舎	850	消防総務課
吉田消防署(庁舎・機械室・倉庫)	1,035	消防総務課
梶木消防署(庁舎・機械室・倉庫)	1,373	消防総務課
梶木消防署 宮和田出張所 庁舎	750	消防総務課
消防団車庫(1分団)	95	消防総務課
消防団車庫(2分団)	45	消防総務課
消防団車庫(3分団)	78	消防総務課
消防団車庫(4分団)	97	消防総務課
消防団車庫(6分団)	137	消防総務課
消防団車庫(7分団)	69	消防総務課
消防団車庫(8分団)	23	消防総務課
消防団車庫(9分団)	48	消防総務課
消防団車庫(10分団)	36	消防総務課
消防団車庫(11分団)	24	消防総務課
消防団車庫(12分団)	36	消防総務課
消防団車庫(13分団)	64	消防総務課
消防団車庫(14分団)	22	消防総務課
消防団車庫(15分団)	30	消防総務課
消防団車庫(16分団)	23	消防総務課
消防団車庫(17分団)	24	消防総務課
消防団車庫(18分団)	23	消防総務課
消防団車庫(19分団)	23	消防総務課
消防団車庫(20分団)	23	消防総務課
消防団車庫(21分団)	69	消防総務課
消防団車庫(22分団)	23	消防総務課
消防団車庫(26分団)	65	消防総務課
消防団車庫(27分団)	32	消防総務課

施設名	延床面積(m ²)	所管課
消防団車庫(28分団)	37	消防総務課
消防団車庫(29分団)	29	消防総務課
消防団車庫(30分団)	31	消防総務課
消防団車庫(31分団)	28	消防総務課
消防団車庫(32分団)	36	消防総務課
消防団車庫(33分団)	36	消防総務課
消防団車庫(34分団)	27	消防総務課
消防団車庫(35分団)	40	消防総務課
消防団車庫(36分団)	36	消防総務課
消防団車庫(37分団)	29	消防総務課
消防団車庫(旧5分団)	69	消防総務課
消防団車庫(旧23分団)	23	消防総務課
消防団車庫(旧24分団)	23	消防総務課
消防団車庫(旧25分団)	22	消防総務課
小堀水防資機材庫	23	消防総務課

第2章 消防施設の目指すべき姿

消防本部施設は、火災、救急、救助等の災害時の活動拠点であり、日々発生する消火、救急、救助活動をはじめ、いつ起こるかわからない災害などに迅速に対応するため、24時間稼働しています。そのため、効率的で迅速に業務が遂行でき、実践的で効果的な訓練が可能な各種訓練施設等を備えるなど、機能性が高く消防力が向上する庁舎が求められています。

消防団施設は消防本部や消防署と同様の消防機関で、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、市民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防施設には、防災拠点施設機能、事務所機能、充実した訓練施設、利用者ニーズへの配慮や環境に優しく経済性に優れた施設等の機能が求められています。

これらを踏まえ、以下のとおり消防施設の目指すべき姿となる(1)から(4)を設定します。

(1) 安全安心な施設

劣化が進む部位の点検を行い、老朽化する施設に適切な保全を行うことで、安全安心な施設を目指します。

(2) 防災拠点としての施設

近年の大規模な自然災害から、市民の安全安心を守る消防行政サービスの拠点を目指します。

(3) 持続可能な施設

設備の更新、改修時においては、省エネルギー性能の優れた設備導入などにより、環境負荷の低減に配慮した、持続可能な施設を目指します。

(4) 環境変化に対応した施設

人口減少等による利用需要の変化に応じた効率的・効果的環境の整備を目指します。

参考として、「取手市公共施設等総合管理計画」(平成 28 年(2016)7月策定)に掲載されている消防施設の課題の内、未対応の課題と、改善の方向性は以下のとおりです。

課題

- ・ 消防団車庫は築 30 年以上を経過した施設が約半数あるため、更新が必要となっています。
- ・ 消防庁舎には、十分に活用されていないスペースがあるため、さらに有効活用を図っていく必要があります。
- ・ 消防組織法により、消防の広域化が推進されており、今後その対応が必要となります。

改善の方向性

- ・ 消防署は市民の安全・安心な暮らしを守る消防活動等の重要な拠点施設であり、今後長期に使用できるよう、計画的な保全の考え方に基づく改修等を実施し、長寿命化を図り機能を維持していきます。併せて、バリアフリー化や環境に配慮した仕様を検討していきます。
- ・ 消防庁舎の更新の際には、対象地域の人口、世帯数の推移や道路の整備状況を踏まえて、再配置を含め計画を検討していきます。
- ・ 消防団車庫は、緊急・災害時における地域に密着した消防団員の詰所となるため、消防団員の確保も含め、消防活動等を行う機能を維持していきます。
- ・ 消防庁舎の活用されていないスペースの有効活用を検討していきます。
- ・ 消防の広域化への対応を検討していきます。

第3章 消防施設の状態等

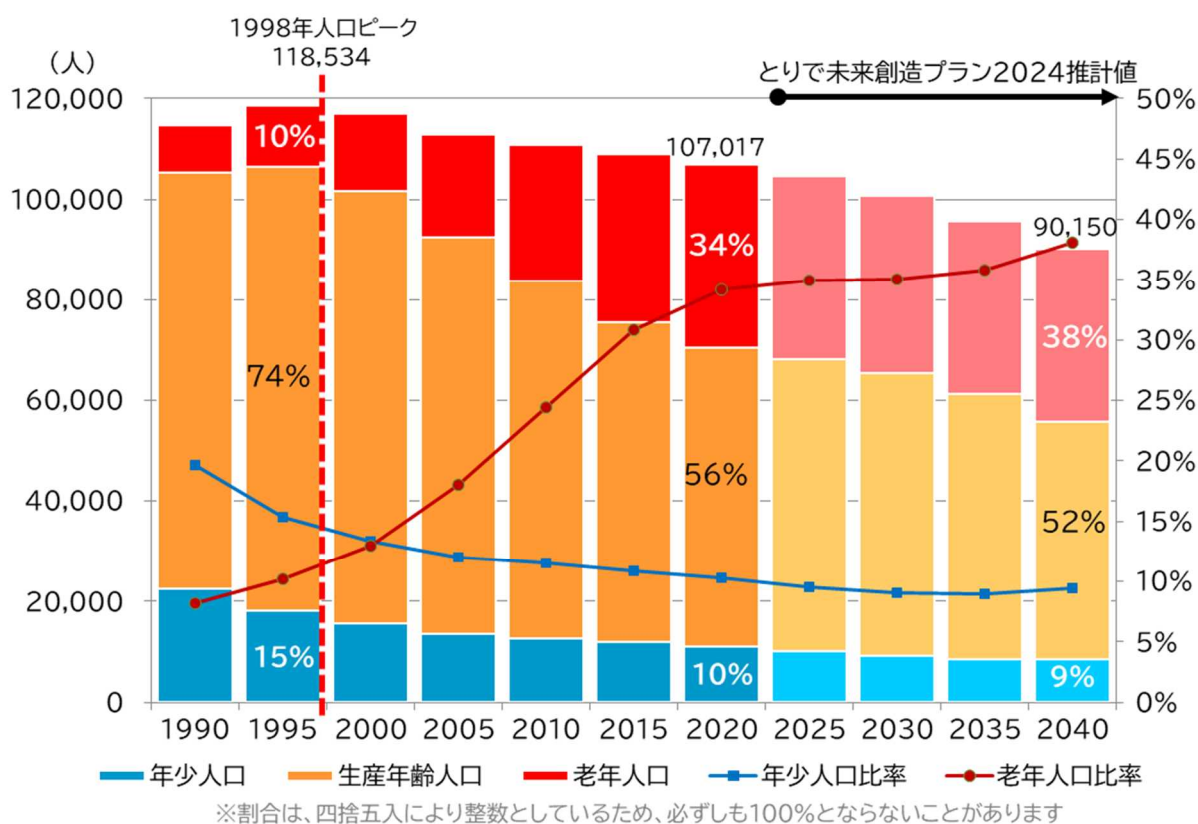
3-1 施設の運営状況・活用実況等の実態

(1) 取手市の将来人口の推移

① 市内総人口

市の総人口は、平成10年(1998)の11.8万人をピークに減少傾向にあり、令和22年(2040)には約4分の3に減少し、2.8人に1人が高齢人口(65歳以上)になると予想されています。

図表 3-1 人口状況



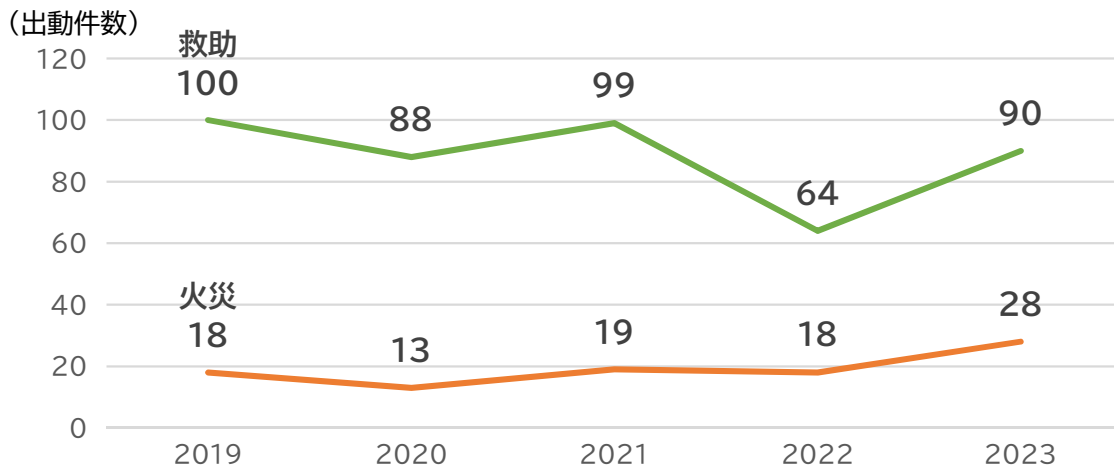
出典：第六次取手市総合計画 基本計画「とりで未来創造プラン 2024」

② 人口減少推移による影響

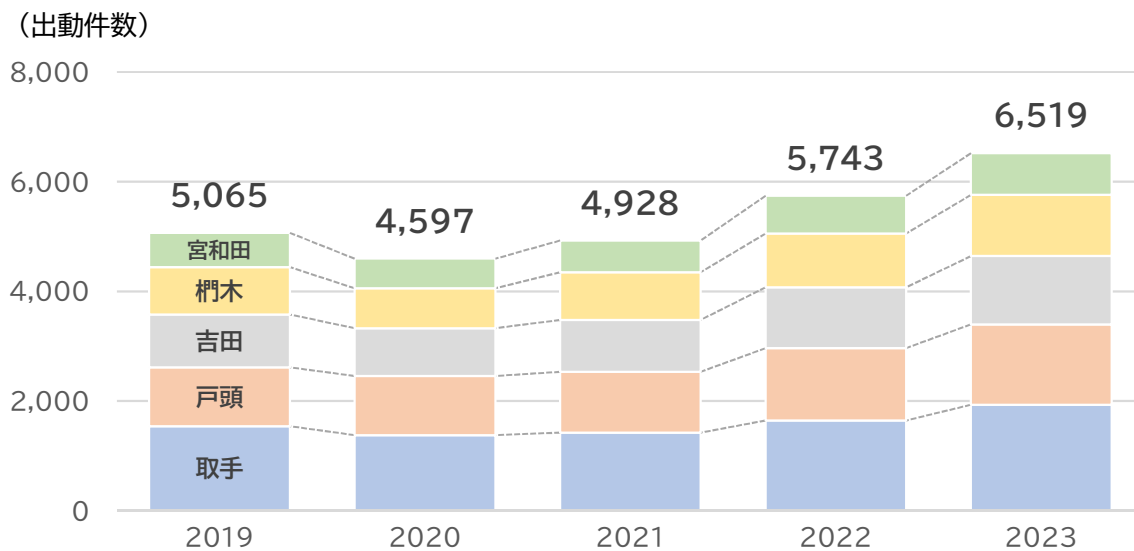
消防施設は、消防・救急活動において市域をカバーするため、人口減少率に関わらず施設を維持する必要があります。

(2) 現在の利用状況

図表 3-2 火災・救助出動件数



図表 3-3 救急出動件数



(3) 利用状況の変化

サービスの対象としては、全市民が対象です。火災及び救助の出動件数は概ね横ばいですが、救急の出動件数については増加傾向にあります。

(4) 消防施設の配置状況

本計画の対象となる消防本部施設(5か所)、消防団施設(38か所)の市内の配置状況は以下のとおりです。

※消防団の統廃合により、使用している消防団施設(車庫)は33個分団。

図表 3-4 消防施設の配置状況



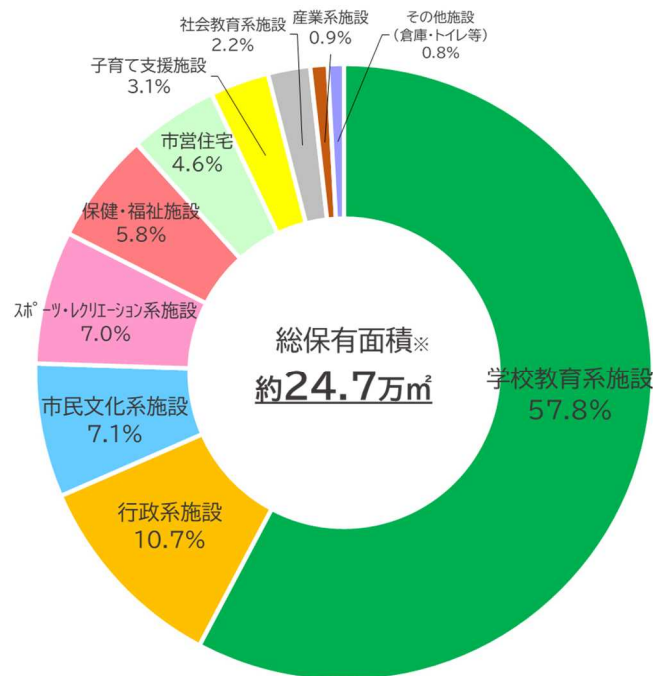
(5) 消防施設の保有量

① 消防施設の現状

本市は平成27年(2015)時点で約24.7万㎡の公共施設を保有しています。(市民一人あたり2.27㎡)

消防施設については、8,113㎡の公共施設があり、本市の公共建築物のうち行政系消防施設の延床面積の割合は、約3%です。

図表 3-5 類型別公共施設保有割合



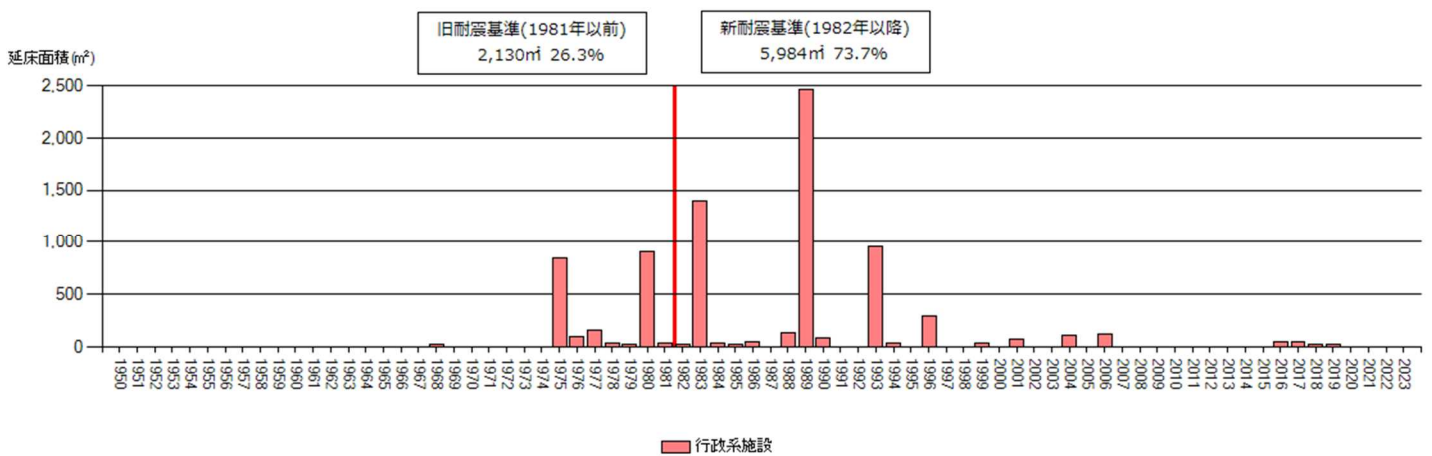
※総合管理計画策定(H27年)当時の保有面積

出典:取手市公共施設等総合管理計画

② 築年別整備状況(消防本部施設)

- 取手市消防本部(取手消防署) 昭和63年度(1988)建築
平成元年度(1989)開署
令和元年度(2019)大規模改修工事
- 戸頭消防署 昭和50年(1975)建築
昭和50年度(1975)開署
平成27年度(2015)耐震補強工事
令和4年度(2022)改修工事
- 吉田消防署 昭和55年度(1980)建築
昭和56年度(1981)開署
平成26年度(2014)耐震補強工事
令和3年度(2021)大規模改修工事
- 梶木消防署 昭和58年度(1983)建築
昭和58年度(1983)開署
令和2年度(2020)大規模改修工事
- 梶木消防署 宮和田出張所 平成4年度(1992)建築
平成5年度(1993)開署

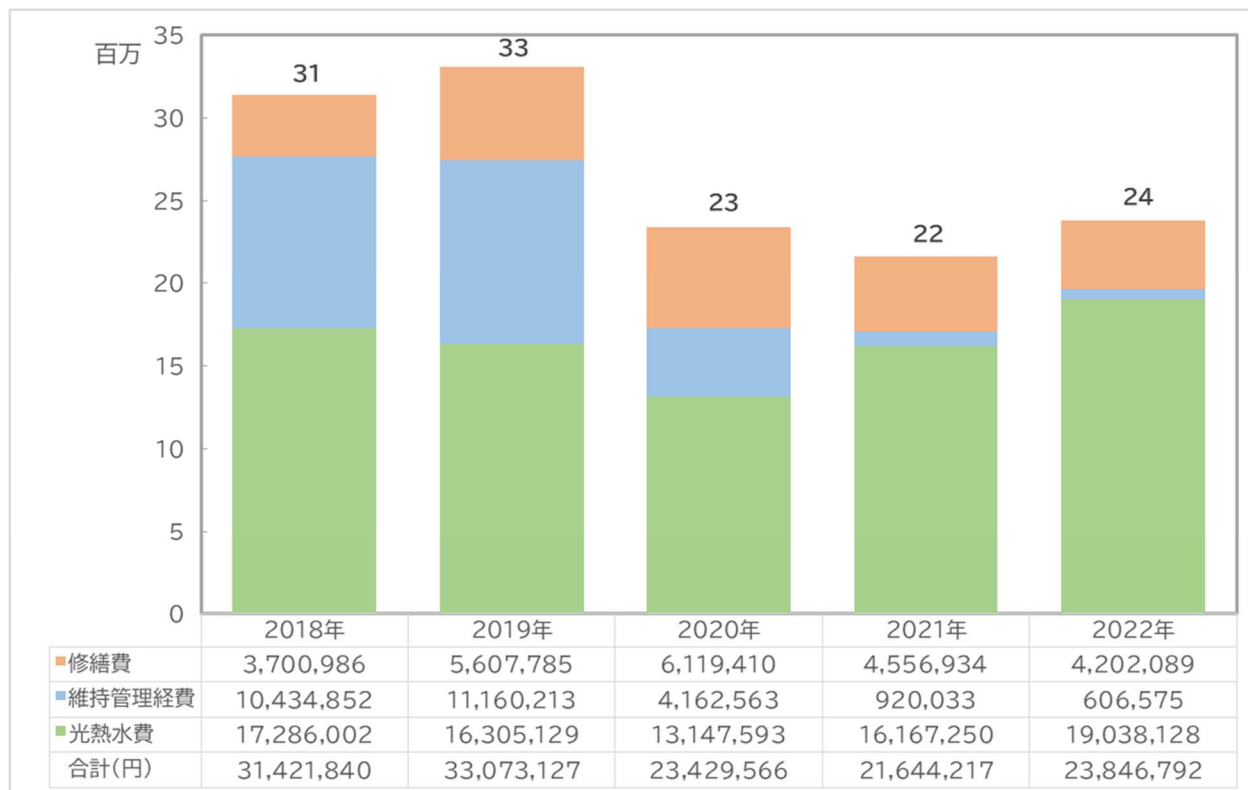
図表 3-6 消防施設の地区年別整備状況



(6) 施設関連経費の推移

令和元年度(2019)から令和4年度(2022)にかけ、消防本部施設(宮和田出張所を除く)の大規模改修工事を実施したことで、その間の修繕費は増えていますが改修工事後の維持管理経費は大幅に減少しております。また、光熱水費については、燃料費の高騰等はあるが、改修工事により消防庁舎の照明をLED化したことで、大きな変動はありません。

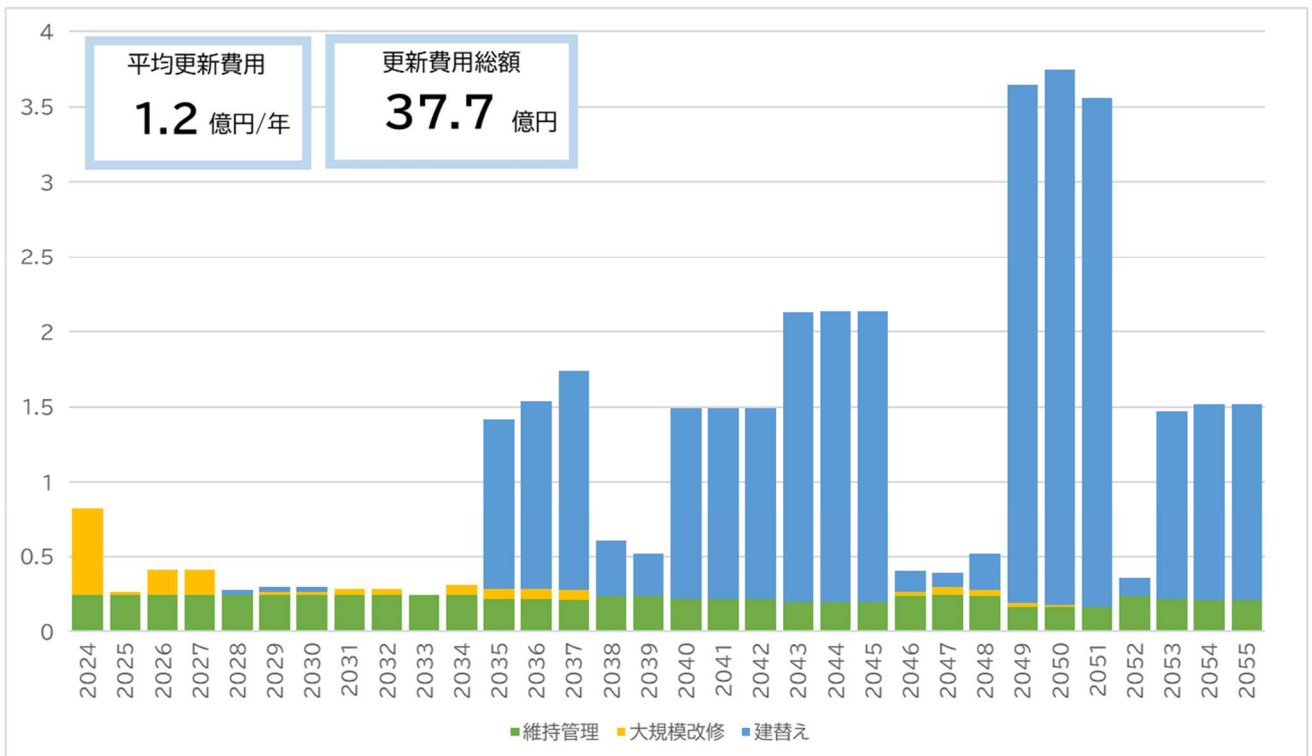
図表 3-7 消防本部施設の施設関連経費の推移



(7) 今後の維持・更新コスト(従来型)

消防施設について、従来どおりに管理し更新する場合にかかる費用について、総合管理計画に定めた単価(従来型)により試算を行ったところ、今後の維持管理・更新コストは以下のようになりました。

図表 3-8 消防施設の今後の維持管理更新コスト(従来型)



(8) 各施設の概要

施設名称 消防本部・取手消防署

所在地	取手市井野1264-1	地域	井野地区
所管課	消防総務課		
用途	消防施設		
配置形態	複数棟施設		
延床面積(施設全体)	2,513 m ²	敷地面積	6,565 m ²
棟数	4		
運営形態	直営	運営時間	0:00~0:00
定休日			
避難所指定			



棟情報								
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況
8010	消防本部・取手消防署	2253	○	RC造	1989	34	60	40.52
8011	取手消防署 訓練棟A	145	○	S造	1989	34	60	60
8012	取手消防署 訓練棟B	104	○	S造	1988	35	60	53.54
8013	消防本部・取手消防署 附属棟機械室	11	○	RC造	1993	30	60	37.14

施設名称

戸頭消防署

所在地 取手市戸頭4-20-1
 地域 稲戸井地区
 所管課 消防総務課
 用途 消防施設
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 850 m²
 敷地面積 1,000 m²
 棟数 1
 運営形態 直営
 運営時間 0:00~0:00
 定休日
 避難所指定



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
8014	戸頭消防署	850	○	RC造	1975	48	60	38.52	

施設名称

吉田消防署

所在地	取手市吉田545-1	地域	小文間地区
所管課	消防総務課		
用途	消防施設		
配置形態	複数棟施設		

延床面積(施設全体)	1,035 m ²	敷地面積	2,963 m ²
棟数	3	運営時間	0:00~0:00
運営形態	直営		
定休日			
避難所指定			



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
8015	吉田消防署	858	○	RC造	1980	43	60	38.73	
8016	吉田消防署 空調機械室	32	○	RC造	1981	42	60	32	
8017	吉田消防署 備蓄倉庫	145	○	S造	1996	27	60	33.5	

施設名称

栢木消防署

所在地 取手市栢木950-1

地域 相馬地区

所管課 消防総務課

用途 消防施設

配置形態 複数棟施設

延床面積(施設全体) 1,373 m²

敷地面積 5,403 m²

棟数 3

運営形態 直営

運営時間 0:00~0:00

定休日

避難所指定



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
8018	栢木消防署	1301	○	RC造	1983	40	60	42.17	
8019	栢木消防署 機械棟	32	○	RC造	1983	40	60	29.6	
8020	栢木消防署 倉庫	40	○	S造	1983	40	60	29.6	

施設名称 **櫛木消防署 宮和田出張所**

所在地 取手市宮和田1782-1 地域 高須、桜が丘地区
 所管課 消防総務課
 用途 消防施設
 配置形態 単独施設

延床面積(施設全体) 750 m² 敷地面積 2,650 m²
 棟数 2
 運営形態 直営 運営時間 0:00~0:00
 定休日
 避難所指定



棟情報									
番号	棟名称	延床面積	耐震性	構造	建築年	築後年数	耐用年数	劣化状況	
8021	櫛木消防署 宮和田出張所	750	○	RC造	1993	30	60	40.18	

施設名	地区	棟番号	建築年度	築後年数	延床面積	構造	劣化度
消防団車庫(1分団)	取手市新町一丁目3番	8023	2006	17	95	S造	34.12
消防団車庫(2分団)	取手市取手二丁目14番23号	8024	2004	19	45	S造	27.75
消防団車庫(3分団)	取手市取手一丁目13番	8025	1996	27	78	S造	38.46
消防団車庫(4分団)	取手市取手二丁目17番1号	8026	1993	30	97	S造	38.46
消防団車庫(6分団)	取手市白山二丁目6番29号	8028	1977	46	137	S造	37.6
消防団車庫(7分団)	取手市井野876番地	8029	1996	27	69	S造	39.2
消防団車庫(8分団)	取手市吉田361番地	8030	1979	44	23	軽量S造	32
消防団車庫(9分団)	取手市小堀4230番地	8031	1980	43	48	S造	38
消防団車庫(10分団)	取手市市之代499番地1	8032	1989	34	36	軽量S造	32
消防団車庫(11分団)	取手市上高井612番地1	8033	2016	7	24	軽量S造	35
消防団車庫(12分団)	取手市下高井1307番地	8034	1984	39	36	軽量S造	32
消防団車庫(13分団)	取手市米ノ井374番地2	8035	1990	33	64	S造	32
消防団車庫(14分団)	取手市戸頭1439番地1	8036	2018	5	22	軽量S造	35
消防団車庫(15分団)	取手市野々井1418番地1	8037	2017	6	30	軽量S造	35
消防団車庫(16分団)	取手市稲1163番地	8038	2006	17	23	軽量S造	32
消防団車庫(17分団)	取手市駒場三丁目12番5号	8039	2016	7	24	軽量S造	35
消防団車庫(18分団)	取手市本郷三丁目11番20号	8040	1986	37	23	RC造	35
消防団車庫(19分団)	取手市桑原463番地	8041	2017	6	23	軽量S造	35
消防団車庫(20分団)	取手市桑原1056番地1	8042	1983	40	23	軽量S造	50.67
消防団車庫(21分団)	取手市小文間4232番地	8043	2004	19	69	S造	47.08
消防団車庫(22分団)	取手市小文間4506番地1	8044	1986	37	23	RC造	32
消防団車庫(26分団)	取手市東五丁目8番	8048	1976	47	65	S造	35
消防団車庫(27分団)	取手市岡939番地	8049	1989	34	32	軽量S造	32
消防団車庫(28分団)	取手市山王313番地	8050	1988	35	37	軽量S造	32
消防団車庫(29分団)	取手市神住883番地	8051	1976	47	29	軽量S造	32
消防団車庫(30分団)	取手市清水378番地1	8052	1978	45	31	軽量S造	32
消防団車庫(31分団)	取手市中田752番地3	8053	1977	46	28	軽量S造	32
消防団車庫(32分団)	取手市櫛木931番地12	8054	1994	29	36	軽量S造	32
消防団車庫(33分団)	取手市宮和田343番地2	8055	1993	30	36	軽量S造	32
消防団車庫(34分団)	取手市高須190番地1	8056	1990	33	27	軽量S造	32
消防団車庫(35分団)	取手市浜田257番地1	8057	1993	30	40	軽量S造	32
消防団車庫(36分団)	取手市新川247番地2	8058	1999	24	36	軽量S造	32
消防団車庫(37分団)	取手市双葉2丁目3番	8059	1968	55	29	軽量S造	32
消防団車庫(旧5分団)	取手市台宿二丁目18番19号	8027	2001	22	69	S造	32
消防団車庫(旧23分団)	取手市小文間4677番地2	8045	1985	38	23	軽量S造	50.67
消防団車庫(旧24分団)	取手市小文間3940番地1	8046	1982	41	23	軽量S造	41.33
消防団車庫(旧25分団)	取手市井野台二丁目6番	8047	2019	4	22	軽量S造	32
小堀水防資機材庫	取手市小堀4210番地64		1978	45	23	軽量S造	44.86

3-2 消防施設の劣化状況の実態

消防施設の劣化状況につきましては、当市で導入している公共施設マネジメントシステム(以降、「システム」という。)の総合劣化度を基準とします。

(1) 総合劣化度

統一的な基準で建物の劣化状況を把握するため、建物調査シート(巻末:参考資料)を用いて、建物ごとに調査を実施します。調査の結果はシステムに入力します。システムは、入力結果から各建物の部位ごとの劣化状況を a から d で判定し、各部位の調査結果、築年数や改修状況を加味した、総合劣化度を算出します。総合劣化度は、20 点から 100 点となり、点数が高いほど劣化が進行しています。

(2) 消防施設の総合劣化度一覧

消防本部施設については 35 年～40 年の建築年数が経過しており、全体的に老朽化が進んでいましたが、令和元年度(2019)～令和4年度(2022)にかけて、宮和田出張所を除く消防本部施設の大規模改修工事を順次実施しました。

消防団施設については、第1次行動計画で示された「事後保全型の維持管理手法の考え方」に沿い、不具合が認められた場合に適宜修繕を実施します。また、耐用年数を迎えた時点で建替え若しくは廃止を検討することとしているため、総合劣化一覧(図表3-7)は消防本部施設のみとしています。

第4章 施設整備の基本的な方針等

4-1 施設の規模・配置計画等の方針

(1) 消防施設の個別施設計画の基本方針

今後の維持管理の取組みについては、総合管理計画で示された「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」及び第1次行動計画で示された「維持・保全の基本方針」に基づき実施していきます。

消防本部施設は「予防保全型」施設とします。「第2章 消防施設の目指すべき姿」(1)安全安心な施設で示したとおり、劣化が進む部位の点検を行い、老朽化する施設に適切な保全を行うことで、安全安心な施設を目指します。消防団施設は「事後保全型」施設とします。緊急・災害時における地域に密着した消防団員の詰所となるため、消防活動等を行う機能の維持を図るため、随時、老朽化した施設の更新が必要となります。

施設のあり方の検討は、消防本部(取手消防署)は令和6年度(2024)、宮和田出張所については令和10年度(2028)に施設のあり方の検討①を行い、今後施設を運用する期間を設定します。建築後35年以上を経過した戸頭消防署、吉田消防署、桐木消防署については、令和4年度にあり方の検討①を行い、長期的に使用すべき施設であると判断されています。

耐用年数については、施設のあり方の検討①の際に、建物の構造別に標準耐用年数と目標耐用年数を設定します。消防本部施設は標準耐用年数を60年、目標耐用年数を80年としており、予防保全型維持管理を行い、躯体の健全性を確認のうえ、問題がなければ80年を適用します。消防団施設については標準耐用年数を60年とし、事後保全型維持管理を行います。

長寿命化の方針としては、「第2章 消防施設の目指すべき姿」(2)防災拠点としての施設で示したとおり、近年の大規模な自然災害から、市民の安全安心を守る消防行政サービスの拠点となるよう進めてまいります。

また、「第2章 消防施設の目指すべき姿」(3)持続可能な施設、及び(4)環境変化に対応した施設に基づき、設備の更新、改修時における省エネルギー化や脱炭素化を推進しつつ、施設の配置・運営方法の適正化についても検討を行い環境の変化に対応した施設を目指します。

(2) 消防施設の規模・配置計画等の方針

消防団車庫(旧23分団、旧24分団)については、本来の役割を終えているため、原則廃止するものとします。その他の消防施設については、市域をカバーするためには人口減少率に関わらず施設数を維持する必要があるため、施設の縮小率は設定しませんが、施設のあり方の検討の際には、近隣自治体との連携を含め、最適な配置・規模を検討します。

4-2 修繕・改修等の基本的な方針

消防本部施設については、第1次行動計画で示された「予防保全型維持管理を実施する施設の修繕・改修周期の考え方」のとおり実施していくことを基本的な方針とします。

消防団施設については、同じく第1次行動計画で示された「事後保全型維持管理を実施する施設の考え方」に沿い、点検・調査等により、不具合が認められた場合に適宜修繕を実施し、耐用年数を迎えた時点で、建替え若しくは統廃合等を検討していくことを基本的な方針とします。

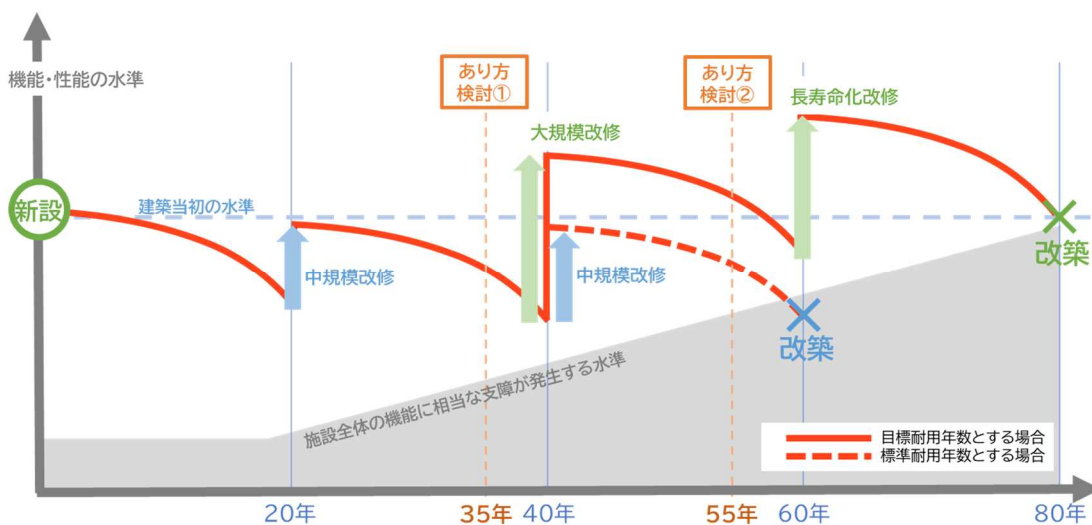
4-3 目標使用年数、改修周期の設定

消防本部(取手消防署)については令和6年度(2024)、宮和田出張所については令和10年度(2028)に施設のあり方の検討①を行い、今後施設を運用する期間を設定します。建築後35年以上を経過した戸頭消防署、吉田消防署、柵木消防署については、令和4年度(2022)にあり方の検討①を行い、標準耐用年数の60年まで必要な保全を行い使用していくことを決定しました。

改修については、令和元年度(2019)～令和4年度(2022)にかけ、消防本部施設(宮和田出張所を除く)の大規模改修工事を実施したことで、当面の間、大規模な改修は予定していないが、目標耐用年数及び長寿命化を見据え、定期的な点検と、20年ごとに周期的な修繕・改修工事を行うことを基本とします。

消防団施設については、標準耐用年数である60年まで適宜修繕等を行い、あり方の検討において、建替え等を検討します。

図表 4-1 修繕・改修のイメージ



出典：第1次行動計画

第5章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

消防本部施設の基本方針

消防本部施設(宮和田出張所を除く)は大規模改修工事を実施済で、宮和田出張所については令和10年(2028)にあり方の検討①を行い、施設の運用期間を決定後に大規模改修工事を検討します。ここでは、経年劣化に対する復旧処置に加え、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入など、社会的要求も可能な範囲で反映し、機能を回復、向上させます。

消防団施設の基本方針

消防団施設は、災害発生時の消防活動等の重要な拠点であるため、不具合が認められた場合は適宜修繕、改修します。

図表 5-1 整備水準

項目	整備内容
外壁・屋根	・屋上防水の更新、断熱化 ・高耐久外壁塗装 ・外部開口部の更新及び遮熱化 ・外部鉄部の保護塗装
内部	・高耐久性・防カビ性クロス
電気設備	・LED 照明化(脱酸素化の推進とともに維持管理コストの低減化を図る)
給排水設備	・節水型衛生器具への更新
空調設備	・省エネルギー型への更新

5-2 維持管理の項目・手法等

消防施設を長期的に活用するために、適切な点検・診断を実施し、建物の劣化・損傷の把握に努めます。点検・診断の結果を踏まえて、「3-2 消防施設の劣化状況の実態」に記載している評価指標を用いて、老朽化状況の情報を更新します。点検・診断の方法については、建築基準法第12条による法定点検のほか、職員による通常点検(目視点検等)及び専門業者による詳細点検等により行います。

図表 5-2 消防施設 各種点検実施表

調査主体	調査者	点検種別	実施時期	点検内容
消防本部 総務課	専門業者	建築基準法第12条に基づく定期点検	・建築物の敷地・構造は3年以内ごと ・特定建築設備(昇降機、その他)は1年以内ごと	・敷地、建築構造、建築仕上げ、防火区画、建築設備などの損傷、腐食その他の劣化状況
		各種設備等の法定点検	・各月	・受変電設備(キュービクル) ・浄化槽設備等
			・年2回	・消防用設備
	各種設備の自主点検	・年2回	・自動ドア	
	施設管理 担当課職員	現地調査	・年1回	・施設の劣化状況の把握、不具合個所の確認 ・マネジメントシステムへの入力
			・日常	・日常的な設備の点検

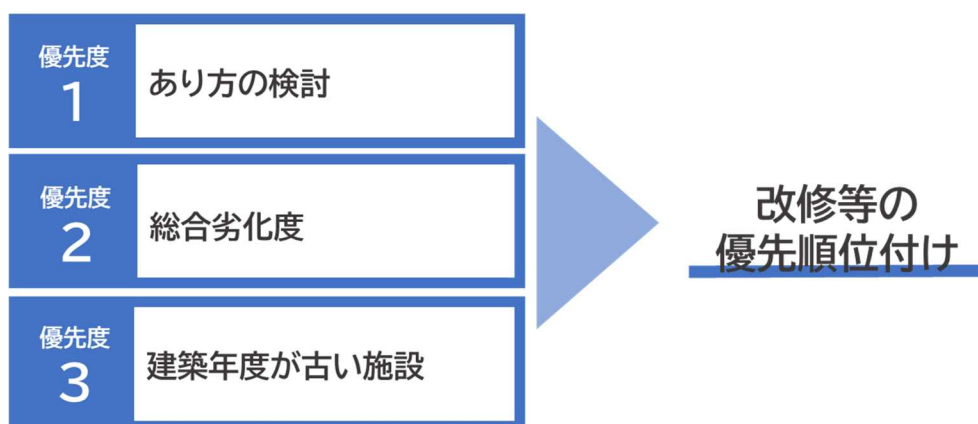
第6章 消防施設の実施計画

6-1 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 実施時期の考え方

「施設の状態等」や「施設整備の基本的な考え方」、「施設整備の水準等」を踏まえ、消防施設の改修等に関する優先順位付けの考え方を示します。

優先順位付けについては、劣化度の点数が高い施設から順に行うことを基本としますが、改修等の実施時期の平準化を図るため、次の点を考慮して、優先順位付けを行うものとします。



(2)実施スケジュール

直近 10 年間の整備スケジュール

(単位:千円)

年度	2024(R06)		2025(R07)		2026(R08)		2027(R09)		2028(R10)		2029(R11)		2030(R12)		2031(R13)		2032(R14)		2033(R15)			
	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費	施設名	事業費		
施設整備費	新增築事業																					
	改築事業					取手消防署 訓練棟(設計)	3,620	取手消防署 訓練棟(工事)	88,820													
	耐震化事業																					
	長寿命化改修																					
	大規模改修 (老朽化)																					
	中規模改修 (老朽化)																					
	防災関連事業																					
	トイレ整備			宮和田出張所	8,160																	
	空調設備																					
	バリアフリー ユニバーサル デザイン																					
	脱炭素化																					
部位修繕																						
その他の施設整備費																						
維持修繕費	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	各施設合計	4,808	4,808	
光熱水費・委託費	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	各施設合計	19,038	19,038	
合計		23,846		32,006		27,466		112,666		23,846		23,846		23,846		23,846		23,846		23,846	23,846	

(3) 優先順位一覧表

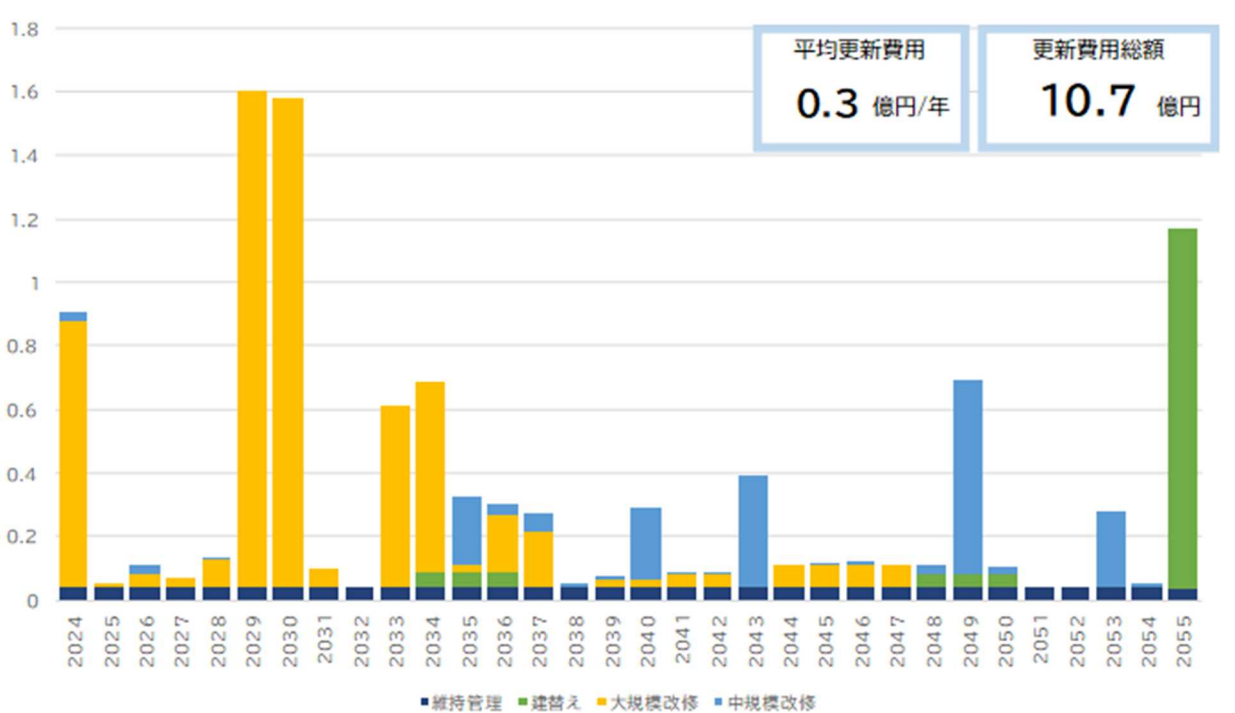
■ : 築50年以上 □ : 築30年以上

優先順位	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	保全種別	優先度 1 あり方の検討			優先度 2	優先度 3
									種別	実施年度	結果	総合劣化度	築年数
1	消防本部・取手消防署	取手消防署 訓練等A	8011	S	2	145	1989	事後	①	2024	存続	60	34
2	消防本部・取手消防署	取手消防署 訓練等B	8012	S	2	104	1988	事後	①	2024	存続	54	35
3	栲木消防署 宮和田出張所	栲木消防署 宮和田出張所	8021	RC	2	750	1993	予防	①	2028	未実施	40	30
4	栲木消防署	栲木消防署	8018	RC	2	1,301	1983	予防	①	2022	存続	42	40
5	消防本部・取手消防署	消防本部・取手消防署	8010	RC	3	2,253	1989	予防	①	2024	存続	41	34
6	戸頭消防署	戸頭消防署	8014	RC	2	850	1975	予防	①	2022	存続	39	48
7	吉田消防署	吉田消防署	8015	RC	2	858	1980	予防	①	2022	存続	39	43

※消防団施設については、第1次行動計画で示された「事後保全型維持管理手法の考え方」に沿い修繕及び建替え若しくは廃止を検討するため、消防本部施設のみとしています。

(4) 更新までの対策費用(概算)

計画的に、建物の耐久性や、機能水準を引き上げる改修等を行うことで、長寿命化を図った場合にかかる維持管理・更新コストについて、総合管理計画に定めた単価(長寿命化)により試算を行ったところ、以下のように従来型に比べ総額27億円、1年間当たりの平均で0.9億円の削減効果が見込まれます。



6-2 改修等のコストの見通し ～維持・更新の課題と今後の方針～

消防本部施設(宮和田出張所を除く)については、令和元年(2019)から令和4年(2022)にかけ大規模改修工事を実施したことにより、当面の間は改修等のコストが軽減される見通しです。その後は各施設約20年を目処に修繕・改修工事を実施し長寿命化を図っていくことから周期的にコストが増すことが予想されます。また、宮和田出張所については令和10年(2028)のあり方の検討①において施設の運用期間を設定します。

消防団施設については大半の施設が建築後30年を経過していることから、随時修繕が必要となり、また、標準耐用年数である60年を迎える施設を順次更新していく必要があることから、今後、修繕及び更新のコストが大幅に増えることが予想されます。

市の財政状況も厳しい中で、いかにしてコスト削減するかが大きな課題となりますが、消防施設は市民の安全・安心な暮らしを守る消防活動等の重要な拠点施設であるため、今後も長期に使用出来るよう、計画的な保全の考え方に基づく改修等を実施し、長寿命化を図り機能を維持していくことが必要となります。公共マネジメントシステムの活用により、劣化状況等を総合的に加味し、計画的な工事予算の平準化を行うことで、財政負担の軽減を図ります。

第7章 計画の推進について

7-1 情報基盤の整備と活用

公共施設等の長寿命化を図っていくためには、建築基準法第12条の法定点検結果や定期的な劣化状況調査結果などの施設の状態に関する情報を個別に整理するのではなく、公共施設マネジメントシステムを活用して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする維持管理情報、修繕履歴や劣化情報について、データベースを定期的に更新し、一元管理を行い市内での情報共有を図ります。

7-2 推進体制等の整備

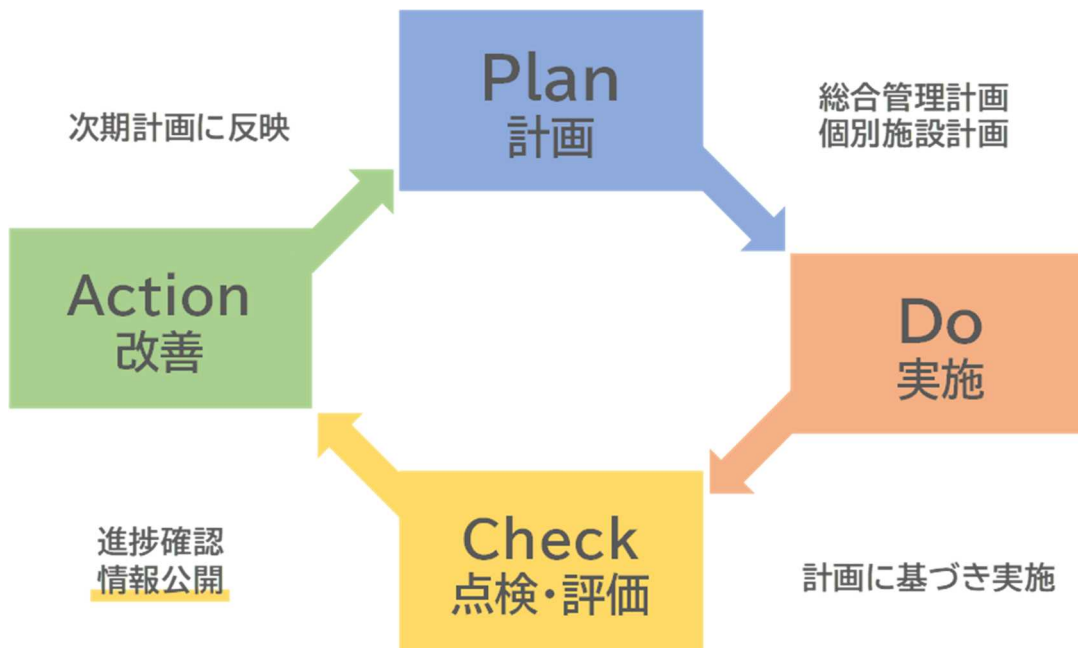
市の公共施設マネジメントの全体調整を担う公共施設マネジメント所管課との協議・アドバイスのもとで、施設管理担当課で計画推進に取り組めます。また、推進にあたって重要な政策決定や、計画の進行管理・見直し、保全対応などの協議は必要に応じて、提案内容を取手市公共施設マネジメント戦略会議で協議して方針を定めます。

7-3 フォローアップ

今回の計画は今後10年間の消防系施設の維持・更新についての方針を示すものであり、その後は状況の変化等に対応して、あらためて計画を見直す必要があります。

将来にわたって適切な公共施設のマネジメントを行っていくにあたり、以下の PDCA サイクルによって、継続的に計画の実施状況を確認し、施設や市をとりまく状況を踏まえて、見直しを行っていきます。

- ・PLAN(計画) : 施設の劣化状況等を踏まえた個別施設計画を策定します
- ・DO(実施) : 個別施設計画に基づく維持・改修・改築を行います
- ・CHECK(評価) : 実施結果の評価・検証を行います
- ・ACTION(改善) : 検証結果を踏まえて必要に応じて個別施設計画を見直します



7-4 市民との情報共有・協働のあり方について

サービスの対象としては全市民が対象です。安全で安心なまちづくりのため、市民はもとより関係機関の声を十分に尊重し、情報共有を図りながら検討を進めていきます。

参考資料

(1) 建物調査シート

建物調査シート

No.			Ver. 2.0
調査日		施設名	
調査者		建物名	

部位	質問	現在の状況	該当する場合✓	
			該当数	備考
躯体	1 基礎・杭 欠損、ひび割れ などがないか	d 欠け落ち、爆裂などがある。	<input type="checkbox"/>	
		d ひび割れ(テレフォンカード厚)が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d ひび割れがあり錆汁が発生している。	<input type="checkbox"/>	
		c エロレシス(白華現象)が発生している。	<input type="checkbox"/>	
		b 変色が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	2 地下 欠損、ひび割れ などがないか	d 欠け落ち、爆裂などがある。	<input type="checkbox"/>	
		d 鉄骨の構造体に発錆による腐食で欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d 木の構造体に腐食や蟻害による欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d ひび割れ(テレフォンカード厚)が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d ひび割れがあり錆汁が発生している。	<input type="checkbox"/>	
c エロレシス(白華現象)が発生している。		<input type="checkbox"/>		
	b 変色が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		
3 地上 欠損、ひび割れ などがないか	d 欠け落ち、爆裂などがある。	<input type="checkbox"/>		
	d 鉄骨の構造体に発錆による腐食で欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d 木の構造体に腐食や蟻害による欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d ひび割れ(テレフォンカード厚)が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d ひび割れがあり錆汁が発生している。	<input type="checkbox"/>		
	c エロレシス(白華現象)が発生している。	<input type="checkbox"/>		
	b 変色が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		
1 屋根・屋上 雨漏り、損傷、 ゴミ、雑草などがないか	d 降雨時に雨漏りがある。	<input type="checkbox"/>		
	d 屋上防水のシートや塗膜が膨れやめくれ、破れ、剥れなどがある。	<input type="checkbox"/>		
	d 暴風雨時に雨漏りがある。	<input type="checkbox"/>		
	d 雨漏りの痕跡がある。	<input type="checkbox"/>		
	d パラペットや笠木のひび割れ、剥落などがある。	<input type="checkbox"/>		
	c パラペットや笠木の浮き、腐食などがある。	<input type="checkbox"/>		
	b ルーフドレイン(屋上排水口)や排水の溝に、雑草が生えている。	<input type="checkbox"/>		
	b ルーフドレインや排水の溝が、土砂、ゴミなどで埋まっている。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
2 外壁 鉄筋の露出、漏水、 欠損、ひび割れなどがないか	d 鉄筋が見えているところがある	<input type="checkbox"/>		
	d 外壁からの漏水が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d タイルなどの剥離・膨れや欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d ひび割れ(テレフォンカード厚)が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	c 浮き、剥離が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	c エロレシス(白華現象)が発生している。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		

部位	質問	現在の状況	該当する場合✓		
				該当数、備考	
外部仕上げ	3 外部開口部	開口部の機能に問題がないか、 著しい錆びや がたつきなどがないか	d 損傷などにより開閉ができない。	<input type="checkbox"/>	
			d 故障などにより施錠機能が使用できない。	<input type="checkbox"/>	
			d 鉄扉が錆びている(錆びの進行が著しい)。	<input type="checkbox"/>	
			d 開閉が重い。	<input type="checkbox"/>	
			d サッシの下から漏水している。	<input type="checkbox"/>	
			d がたつきや破損箇所がある。	<input type="checkbox"/>	
			d 腐食箇所や漏水跡などのしみがみられる。	<input type="checkbox"/>	
			b 開口部周りのシーリング材が硬化しひび割れている。	<input type="checkbox"/>	
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
			該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	4 その他(建)	その他建具などに錆び、 ぐらつき、腐食などがないか	d 錆びた鉄筋が見えて欠け落ちている。	<input type="checkbox"/>	
			d 錆びの進行が著しい。	<input type="checkbox"/>	
			d フェンス等の落下防止措置に問題等がある。	<input type="checkbox"/>	
			d 照明等の機器が十分に固定されておらず、落下等の危険がある。	<input type="checkbox"/>	
			d 手すりがぐらついている。	<input type="checkbox"/>	
			d 手すりがさびて腐食している。	<input type="checkbox"/>	
			d 腐食の進行が著しい。	<input type="checkbox"/>	
			d 漏水している。	<input type="checkbox"/>	
			c ひび割れやふくれがある。	<input type="checkbox"/>	
			c 浮き、剥離が見られる。	<input type="checkbox"/>	
c ネットフェンスが破けている。	<input type="checkbox"/>				
b 錆びがある。	<input type="checkbox"/>				
b 170レックス(白華現象)が発生している。	<input type="checkbox"/>				
a 良好である。	<input type="checkbox"/>				
該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>				
外構	1 舗装	舗装等に異常な段差や 排水不良、損傷などがないか	d 亀裂、陥没等による著しい段差がある。	<input type="checkbox"/>	
			d 地盤沈下が見られる。	<input type="checkbox"/>	
			d 雨水などの排水ができない箇所がある。	<input type="checkbox"/>	
			d タイルなどに著しい剥離・膨れや欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>	
			c 局所的なタイルなどの剥離・膨れや欠損が見られる。	<input type="checkbox"/>	
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>			
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>			
	2 雨水排水	雨水排水に破損や 土砂・ゴミなどがないか	d 樹や排水溝の蓋が破損している。	<input type="checkbox"/>	
			b 土砂、ゴミなどで詰まっている。	<input type="checkbox"/>	
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>			
	3 門及びフェンス	門及びフェンスに損傷、 傾き、腐食などがないか	d 穴開きなどの損傷がある。	<input type="checkbox"/>	
			d 傾いている。	<input type="checkbox"/>	
			d ぐらついている。	<input type="checkbox"/>	
			d 故障などにより施錠機能が使用できない。	<input type="checkbox"/>	
			d 手すりが錆びて腐食している。	<input type="checkbox"/>	
			b 開閉が重い。	<input type="checkbox"/>	
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>			
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>			
	4 植栽	倒木や枯れ枝による影響はないか	d 倒木しそうな中高木がある。	<input type="checkbox"/>	
c 枝枯れが多くみられる。			<input type="checkbox"/>		
a 良好である。			<input type="checkbox"/>		
該当部位及び設備無し(入力しない)			<input type="checkbox"/>		
5 その他(外)	その他外構・ 設置器具などに問題はないか	d ぐらついている。	<input type="checkbox"/>		
		d 傾いている。	<input type="checkbox"/>		
		d 錆びの進行が著しい。	<input type="checkbox"/>		
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		

部位	質問	現在の状況	該当する場合✓	
			該当数	備考
電気設備	1 受変電設備 受変電設備に変形や腐食等はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d 機器が頻繁に故障する。	<input type="checkbox"/>	
		d 業者や行政からの指摘があった。	<input type="checkbox"/>	
		d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>	
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	2 電灯・コンセント設備 電灯・コンセント設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d 使えないコンセントがある。	<input type="checkbox"/>	
		d 点灯しない照明器具がある。	<input type="checkbox"/>	
		d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>	
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
	3 通信設備 通信設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>	
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
4 防災設備 防災設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		
5 その他(電) その他の電気設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		
給排水衛生設備	1 給水設備 給水設備に異常はないか	d ひび割れなどの損傷が見られる	<input type="checkbox"/>	
		d 漏水が目立つ(流れがはっきりと確認出来る)	<input type="checkbox"/>	
		d ポンプなどの運転時に異音、異臭が感じられるようになった。	<input type="checkbox"/>	
		c 錆びや汚れが目立つ	<input type="checkbox"/>	
		c 水道メータボックスへ雨水などが入っていたり、その周辺に地盤沈下が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		b 水の出が悪いところが見られる。	<input type="checkbox"/>	
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	2 給湯設備 給湯設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
		d 炎の色や状態が良くない(不安定)。	<input type="checkbox"/>	
		d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>	
		c 錆びや汚れが目立つ。	<input type="checkbox"/>	
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>	
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	3 排水設備 排水設備に異常はないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
d 接合部に一目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。		<input type="checkbox"/>		
a 良好である。		<input type="checkbox"/>		
該当部位及び設備無し(入力しない)		<input type="checkbox"/>		
4 衛生器具設備 衛生器具設備に異常はないか	d 一目で分かるき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
	d 割れなどの損傷が見られる	<input type="checkbox"/>		
	d 機能が果たせなくなっている	<input type="checkbox"/>		
	d 器具のがたつきなどが見られる	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		
5 ガス設備 ガス設備に異常はないか	d 頻繁にマイコンガスメーターが停止する。	<input type="checkbox"/>		
	d 異臭がする。	<input type="checkbox"/>		
	d 時々メーターが停止するがリセットですぐに復旧する。	<input type="checkbox"/>		
	a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>		

部位	質問	現在の状況	該当する場合✓			
			該当数	備考		
空調換気設備	6 消火設備	消火設備に異常がないか	d 消防からは是正するよう指示があった。	<input type="checkbox"/>		
			d 大きな損傷や変形が見られる。	<input type="checkbox"/>		
			d 「消火栓」という表記が見えづらくなっている。	<input type="checkbox"/>		
			c 消火設備の周囲が整理されていない。	<input type="checkbox"/>		
			c 消火栓のパイプの保温材が剥れている。	<input type="checkbox"/>		
			c 消防から更新するよう指示があった。	<input type="checkbox"/>		
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>			
	7 その他(衛)	その他(衛)に異常がないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
			d 接合部に目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>		
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
				該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
	空調換気設備	1 空調設備	空調設備に異常がないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>	
				d 配管で漏水などが見られる。	<input type="checkbox"/>	
d 空調機器が頻繁に停止するようになった。				<input type="checkbox"/>		
d 空調機器の運転時に異音、異臭が感じられるようになった。				<input type="checkbox"/>		
a 良好である。				<input type="checkbox"/>		
				該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
2 換気設備		換気設備に異常がないか	d 大きな損傷、変形、腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
			d 頻繁に停止するようになった。	<input type="checkbox"/>		
			d 運転時に異音、異臭が感じられるようになった。	<input type="checkbox"/>		
			c 鉄骨架台に錆びなどによる腐食や損傷が目立つようになった。	<input type="checkbox"/>		
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
				該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>	
3 その他(空)	その他(空)に異常がないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>			
		d 接合部に目でわかる腐食、損傷又は緩みが見られる。	<input type="checkbox"/>			
		a 良好である。	<input type="checkbox"/>			
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>				
その他の設備	1 昇降機設備	昇降機設備に異常がないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
			d 機器が頻繁に故障する。	<input type="checkbox"/>		
			d 異音が生じている	<input type="checkbox"/>		
			d 業者や行政からの指摘があった。	<input type="checkbox"/>		
			a 良好である。	<input type="checkbox"/>		
		該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>			
	2 機械駐車設備	機械駐車設備に異常がないか	d 安全性又は耐久性を損なうき裂その他の損傷、変形若しくは腐食が見られる。	<input type="checkbox"/>		
			d 機器が頻繁に故障する。	<input type="checkbox"/>		
			d 異音が生じている。	<input type="checkbox"/>		
			d 業者や行政からの指摘があった。	<input type="checkbox"/>		
a 良好である。			<input type="checkbox"/>			
	該当部位及び設備無し(入力しない)	<input type="checkbox"/>				

取手市消防施設個別施設計画

令和6年(2024)7月策定

作成者 取手市 消防本部 総務課
〒302-0011 茨城県取手市井野1264番地1
TEL:0297-74-0119(代)